

地域の「なつまつり」それぞれ！

いい「あんばい」のぬくもりが…

西山幼稚園

園長 上木 美佳

～ 幼稚園に夜店がやってきた！～

1学期が終わろうとする暑い夏の日、子どもたちが楽しみにしている「なつまつり」が毎年盛大に開催されます。未就園の小さなお子さんを連れて、地域の親子も60組ほど参加してくださいました。緑の芝生の上で、輪になって盆踊りを踊ったり、各保育室では、輪投げ、うちわ作り、ボーリング、紐引き、パズル、金魚すくいなど、夜店がそのまま幼稚園にやってきたような賑わいです。優しく励ましてくれる係のお母さんたちの声援を受けて、何度も輪投げに挑戦したり、ボーリングを楽しんだり…。温かい空気が流れ、次第に子どもたちの笑顔にも自信が満ちてくるのが分かります。



～ お好み焼き、ドーナツ作りも手伝ったよ～

遊戯室では、お好み焼き屋さん、ドーナツ屋さんの屋台が作られ、子どもたちがお店屋さん体験もできるハイクオリティな体験型「なつまつり」。最初は緊張しながらも、少しずついい手つきになってお好み焼きをひっくり返したり、ドーナツをトングで袋に入れたりします。その可愛いしぐさに、そばのお手伝いのお母さんたちもにっこり笑顔になります。その横では、逆瀬川の「さざんか」さんが本物のクッキーを売って下さり、子どもたちは自分でチケットを渡してお店屋さんからクッキーを買う体験もします。



「お好み焼きだよ。美味しーよー」「ドーナツはーい」



～ お兄ちゃん！お姉ちゃん！とい～っしょ！～

慣れた幼稚園とは言え、いつもとは違う雰囲気の中で、多くのお店やコーナーを自分たちで回っていくのは、容易なことではありません。それでも、あえて、4歳児と5歳児がペアになって子どもたち自身でチケットや各コーナーでゲットした景品も管理します。「もらった景品を落とさないか？」「ペアのお友達とはぐれて迷子にならないか？」「どのお店も、回りきれるか？」「暑いけど、お茶は自分達で飲めるのか？荷物もあるのに…」保護者の心配は尽きません。でも、各お店やコーナーにいるお母さんたちの温かいまなざしの中で安心し、5歳児が優しく4歳児の手を引き、どこに行きたいか尋ねながらお店を回っていきます。5歳児の力づよい成長に目を見張り、4歳児もまた、心強いお兄さん、お姉さんの存在に憧れや大きくなる楽しみを感じていきます。



～ いい「あんばい」のぬくもり～

いつもうまくいくことばかりではなくても、自分で行ってみるから分かること、感じることも、自分でやるからこそ納得できること、自信になることがたくさんあります。本物体験の素晴らしさです。過保護ではなく、放任でもなく、いい「あんばい」のぬくもりのある「なつまつり」…。これからも、西山幼稚園の宝物として、大事にしていきたいと思っています。

～ 今年も盛り上がった「ハイツ夏祭り」～

逆瀬川ハイツ自治会

7月29日、毎年恒例の「ハイツ夏祭り」を実施しました。今年は地域交流を目的とし、小学校の集団登校を共にする近隣世帯にも声をかけさせていただき、幼児からご高齢の方まで、幅広い年齢層の方で賑わいました。

当日は天候にも恵まれ、ここ数日続いていた夕立もない酷暑の中、子どもたちは「冷たい」と、かき氷を美味しそうにほおばり、サイコロゲーム・お菓子のつかみ取り等楽しんでいました。一方大人たちは、フランクフルトをおつまみにしながら、ビールを飲み、談笑を堪能。最後、恒例のビンゴゲーム大会では、自分のカード、周りの人のカードを見ながら一喜一憂。大いに盛り上がり、祭りを満喫しました。

当自治会は高齢者所帯が多く、いつも若手の協力が不足するのですが、それを補って余りあるほど、毎年「ひまわりの会」(ハイツの老人会)の皆さんが大活躍してくださり、今年も多大なご支援をいただきました。こうした経緯もあり、夏祭りの催し自体も、自治会とひまわりの会の共催という形をとることにしました。限られた人員での準備や当日の役割など、かなり大変な作業ですが、ハイツ住民の楽しみでもあり、数少ない交流の機会である「ハイツ夏祭り」を今後も住民同士力を合わせて、継続していきたいと思ひます。

～ わいわい賑やかに 納涼ビールまつり～

皆さんとのふれあいの時間を！

逆瀬川団地自治会



自然の中、テーブルを囲みながらのビールは、また格別なおいしさ！近隣の皆さんとのふれあいの時間が過ぎる。

夕方5時より生ビール飲み放題(有料)が…。各テーブルから「乾杯！」の声。だんだんと話し声が大きくなり、和やかな雰囲気。ボランティアの方たちが作ってくださった焼きそば、フランクフルト等々が美味しい！子どもたちは「輪投げ」も楽しみながら納涼を満喫！

【H】